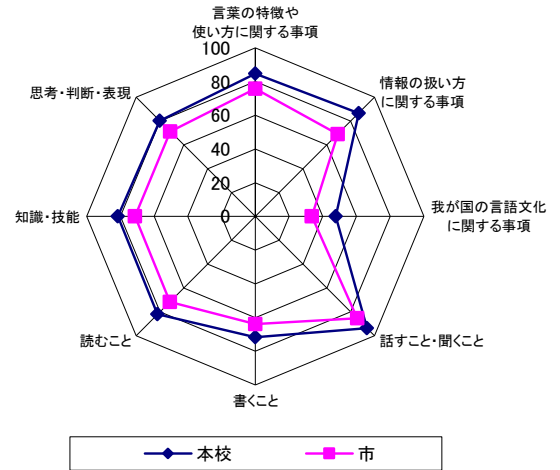


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使いに関する事項	84.7	75.8	77.5
	情報の扱い方に関する事項	86.7	69.1	67.0
	我が国の言語文化に関する事項	47.8	33.5	37.2
	話すこと・聞くこと	93.7	85.5	86.5
	書くこと	71.7	63.9	65.8
	読むこと	82.0	71.6	69.5
観点別	知識・技能	81.5	71.3	72.9
	思考・判断・表現	80.2	71.3	71.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○漢字を読む、書く問題の正答率は、すべての問題が80%を上回っており、定着が図れていると言える。</p> <p>●文と文の接続の関係を考える問題は市の平均を上回っているが、正答率が65.6%で十分な理解ができていないといえる。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>○漢字を読む・書く問題では、授業等で扱うだけでなく、AIDリルなどを活用し、繰り返し学習することで定着を図っていく。</p> <p>・問題が意図していることを理解し、適切に回答することができるよう、同類の問題を授業でも扱っていくことが必要である。普段から文と文をつなぐ言葉の使い方について、繰り返し指導していく。</p>
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○言葉の学習において、原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかみる問題の正答率は86.7%で市の平均を17ポイント上回っている。</p>	<p>・情報と情報の関係について理解するために、原因と結果の位置関係に着目し、文の理解につなげるようにする。</p> <p>・原因と結果という言葉を授業以外でも使用し、言葉の意味や関係性が定着していくよう指導する。□</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解しているかをみる問題の正答率は47.8%で、市の平均を14.3ポイント上回っているが、正答率は全領域の中で最も低かった。和語と漢語の理解が十分とは言えない。</p>	<p>・直接的に和語・漢語・外来語について学習する時間は限られているため、普段から語源を調べたり、新出漢字を学習する際に和語や漢語に触れたりする機会を設け、日常的に指導していく。</p>
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○インタビューの内容を聞き、話の内容を捉えたり、意図に応じて質問を工夫しているかみる問題の正答率はどちらもほぼ100%の正答率で、十分理解できていることが分かる。</p> <p>●インタビューの内容を捉え、分かったことを記述する問題の正答率は、82.2%で市の平均を12.4%上回っているが、他の設問と比べると低い正答率だった。</p>	<p>・授業において、話合う活動や友達の発表を聞く活動を積極的に取り入れ、話している人が伝えたいことは何かを考えながら聞いたり、わかりやすく伝えたりできるように日常的に指導をしていく。</p> <p>・授業などでメモを取る活動を取り入れ、聞くだけでなく表現をできるように指導をしていく。</p>
書くこと	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○自分の立場とその理由を書く問題の正答率は94.4%で市のへ近を10ポイント上回っている。また、書くことの中で最も高い正答率だった。</p> <p>●目的や意図に応じて指定された長さで伝えたいことを明確にして文を書く問題の正答率は67.8%で、市の平均より2ポイント低かった。</p>	<p>・授業のまとめや振り返りを書くときに、条件を与えたり文字数を指定したりするなど、端的にまとめる力が身に付くよう工夫して指導していく。</p> <p>・書くことの単元に限らず、朝の学習や家庭学習などで短い文を書く活動を取り入れていく。</p> <p>・情報と情報との関連付けや図や表などの資料と文を関連付けて書く活動を他教科でも取り入れ、意識して指導していく。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○物語の内容の読み取りでは、すべての設問が85%を上回っており、定着が図れていると言える。</p> <p>●説明文の内容の読み取りでは、市の平均をすべて上回っているが、正答率は低い部分がある。特に叙述を基に文章の内容をとらえる問題が62.2%で、正答率が低かった。</p>	<p>・物語文の学習では、授業で扱う際に、文の叙述に着目し、登場人物の心情や様子を詳しく読み取ることや、物語を具体的に想像ができるような指導を継続していく。</p> <p>・説明文の学習では、段落ごとの内容の読み取りだけでなく、文章全体から構成の内容を捉えて、叙述を基に文章の情報を整理できるような指導をしていく。</p>